

令和元年における交通死亡事故の発生状況等について

1 令和元年における交通死亡事故の特徴について

- 交通事故死者数は減少
前年比－317人、－9.0%（過去5年平均減少率－3.9%）
 - ・ 自動車乗車中死者数の減少が最も寄与しており、特に、高齢者の減少が大きい。
 - ・ 二輪車乗車中死者数も減少しており、特に、原付車乗車中の死者数の減少が大きい。
- 高齢者の自転車乗用中死者数は増加
前年比＋5人、＋1.7%（過去5年平均減少率－4.5%）
- 75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数は減少
前年比－59件、－12.8%（過去5年平均減少率 0.0%）
- 飲酒死亡事故件数は減少
前年比－22件、－11.1%（過去5年平均減少率－3.4%）

2 昨年中強化した対策と死亡事故抑止効果

- 横断歩行者対策の強化
 - ・ 歩行者妨害取締件数の増加（前年比＋4万8,105件、＋26.5%）
 - ・ 歩行者の横断中死者数の減少（前年比 ー90人、－10.9%）
- 適切な速度取締り
自動車乗車中死者数の減少（前年比 ー114人、－9.5%）
- 12月における取組の強化
12月の死者数の減少（前年比 ー54人、－13.2%）

3 本年の取組

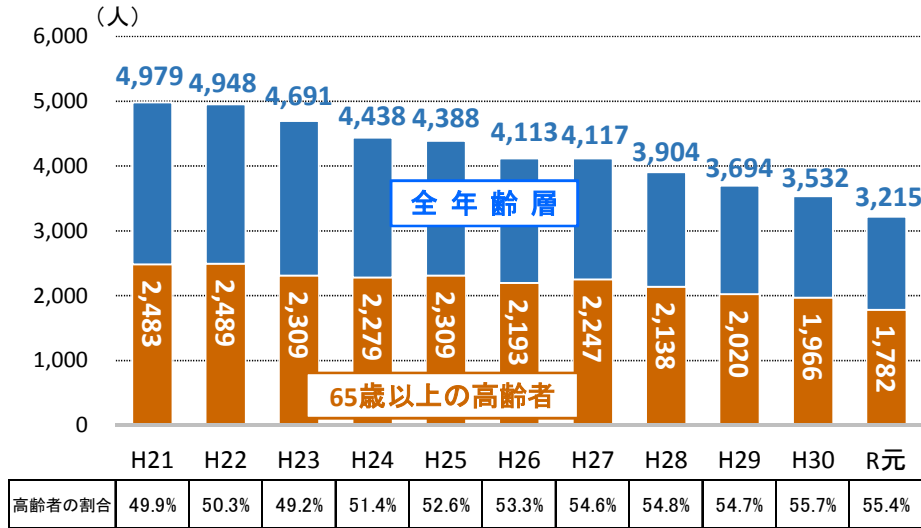
- 横断歩行者対策
- 生活道路を含む速度取締り
- 自転車の安全対策
- シートベルト着用の促進

令和元年における交通死亡事故の発生状況等について

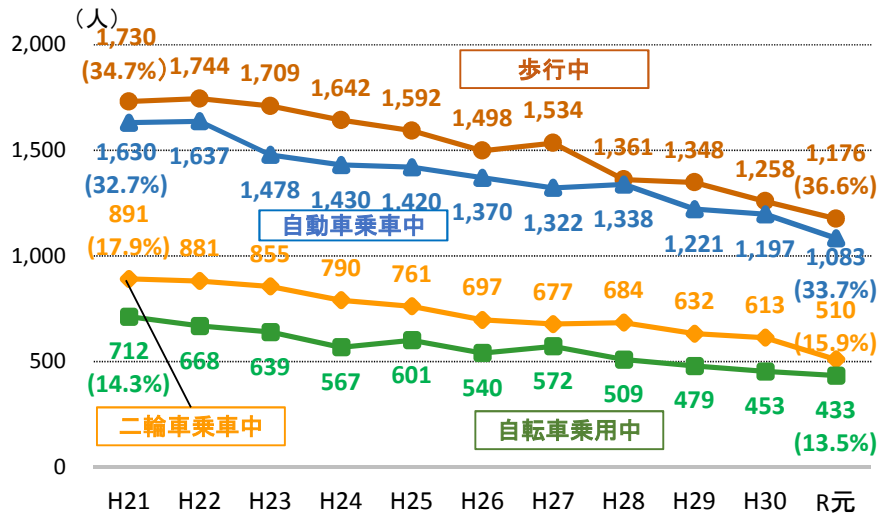
令和2年2月13日
警察庁交通局

1 交通事故死者数の推移

交通事故死者数の推移

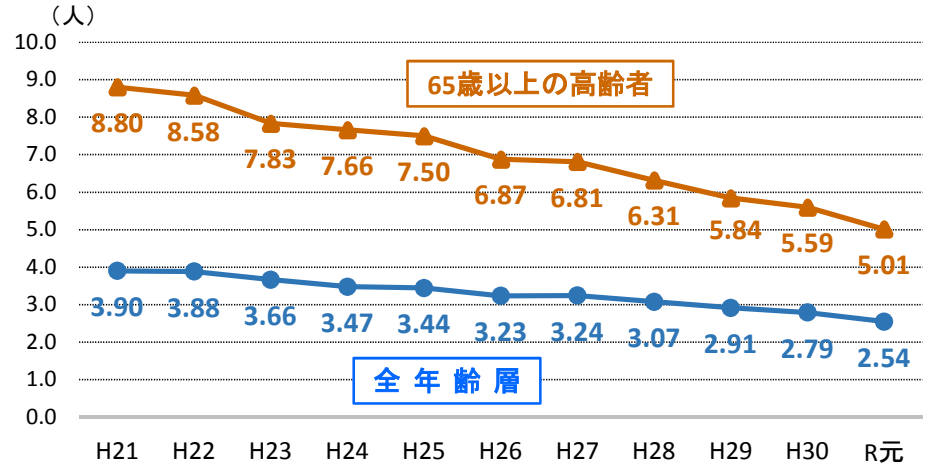


状態別死者数の推移



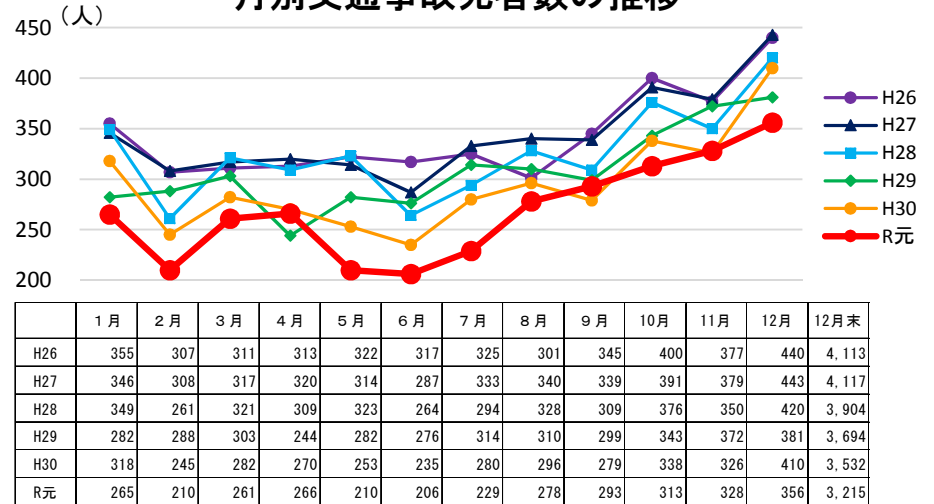
(注)・()内は全死者数に占める構成率

交通事故死者数の推移（人口10万人当たり）



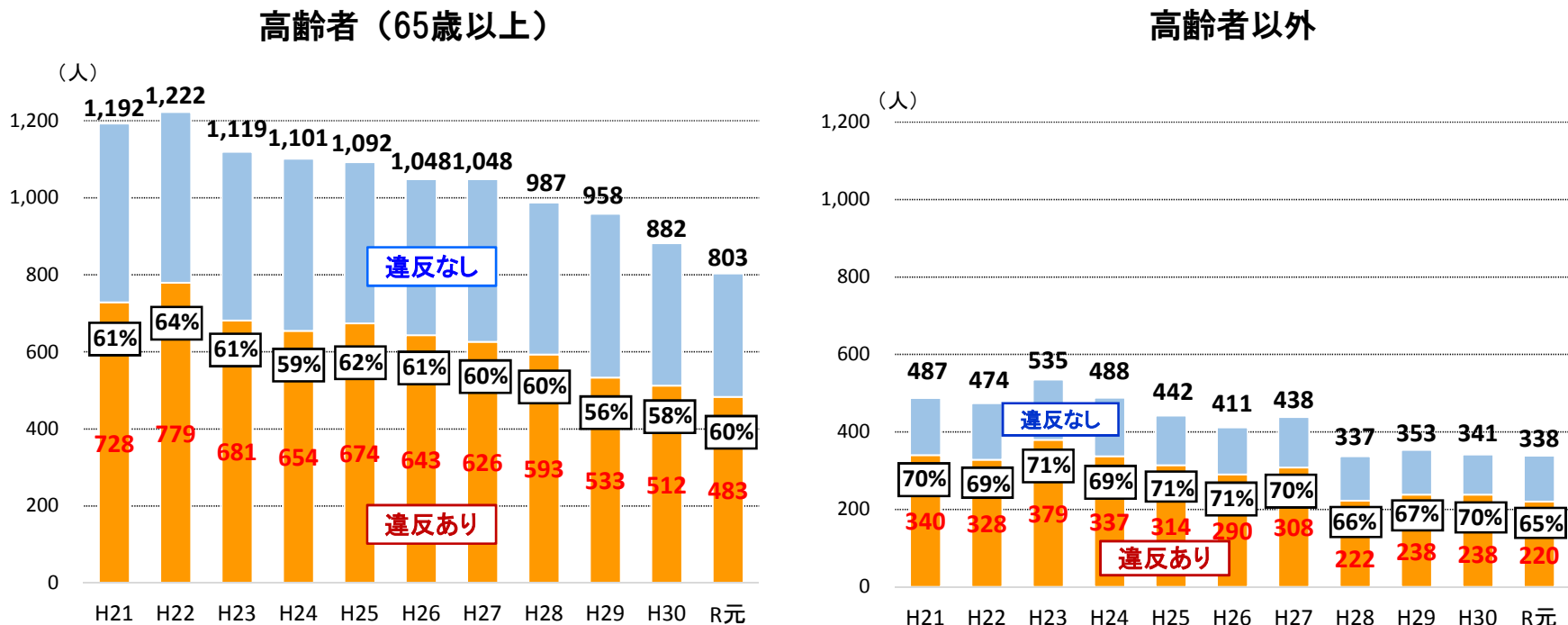
(注)・算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在の人口(補間補正を行っていないもの。ただし、国勢調査実施年は国勢調査人口による。))による。

月別交通事故死者数の推移



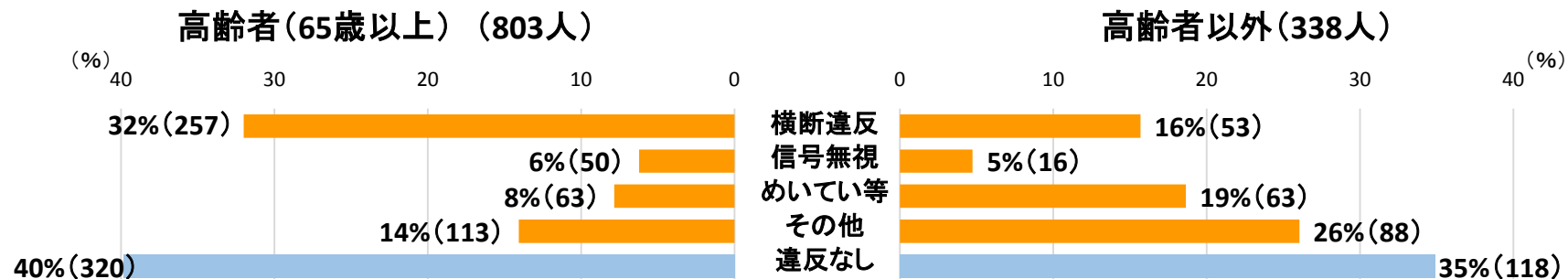
2 歩行中死者の状況 【① 法令違反状況の推移】

歩行中死者（第1・第2当事者）の法令違反状況の推移



(注) ・「違反あり」には、法令に規定のない「飛出し(安全を確認しないで道路に飛び出したもの)」、「調査不能(違反種別が不明の場合)」等を含む。

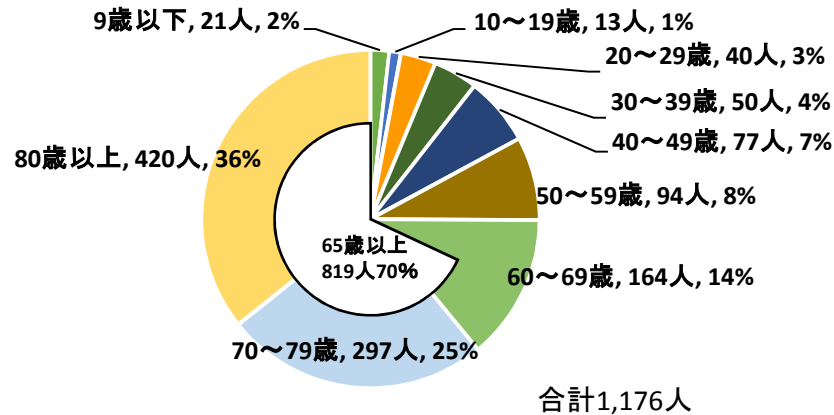
歩行中死者（第1・第2当事者）の法令違反別比較（令和元年）



(注) ・「横断違反」とは、横断歩道外横断、走行車両の直前直後横断等をいう。

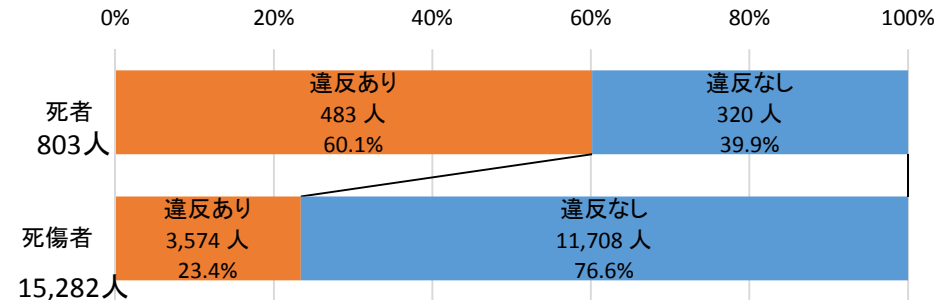
2 歩行中死者の状況【② 死傷者との比較】

年齢層別歩行中死者数（令和元年）



歩行中死者・死傷者（第1・第2当事者）の法令違反状況（令和元年）

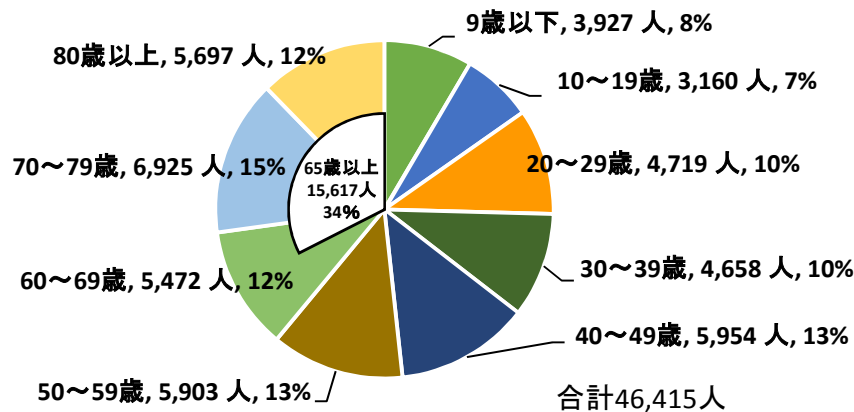
<高齢者>



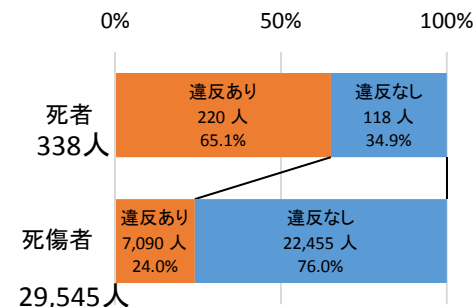
【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 13.5% **約4.9倍** (違反なし) 2.7%

年齢層別歩行中死傷者数（令和元年）



<高齢者以外>



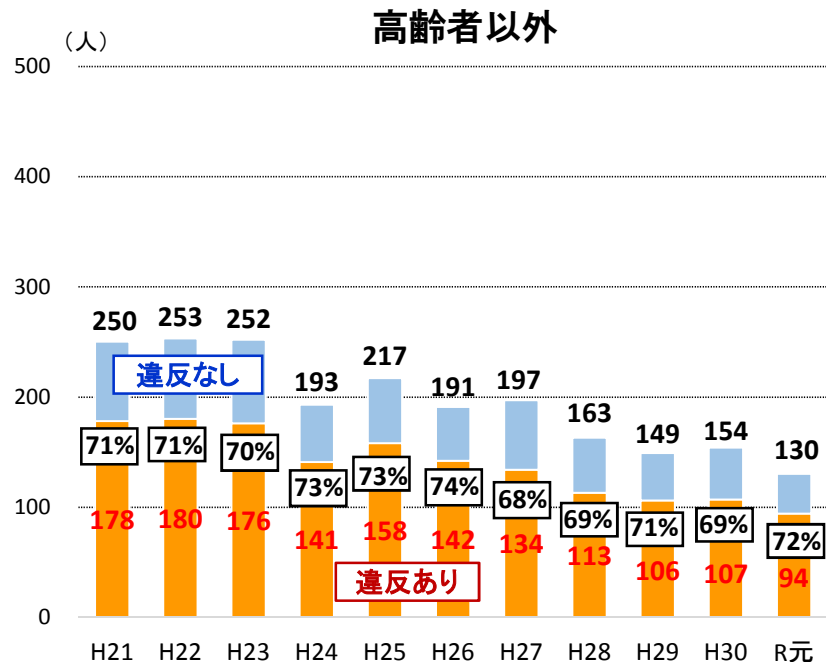
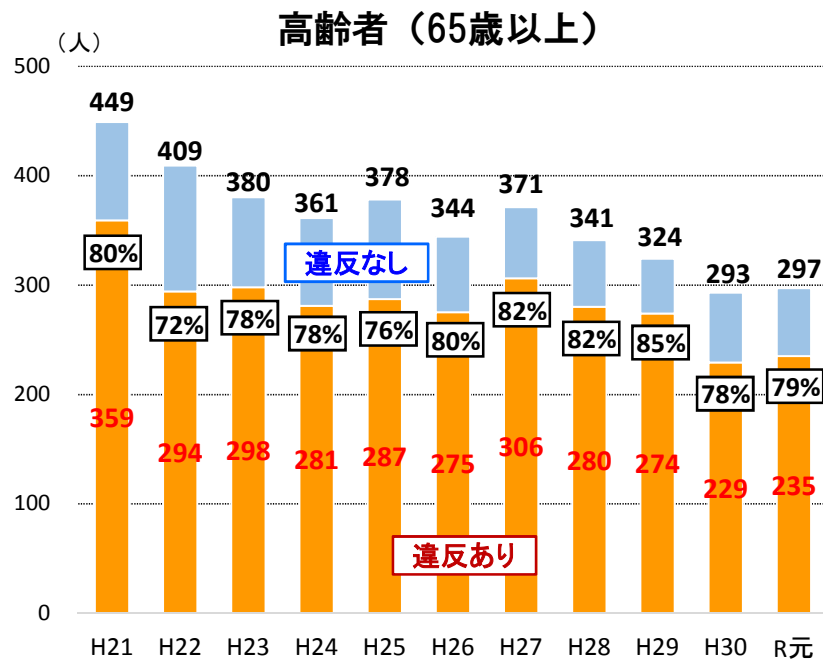
【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 3.1% **約5.9倍** (違反なし) 0.5%

65歳以上違反ありの場合の(死者/死傷者)率は、65歳未満の4.4倍

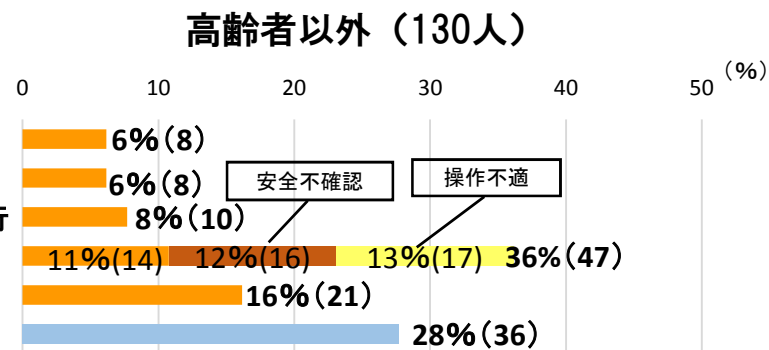
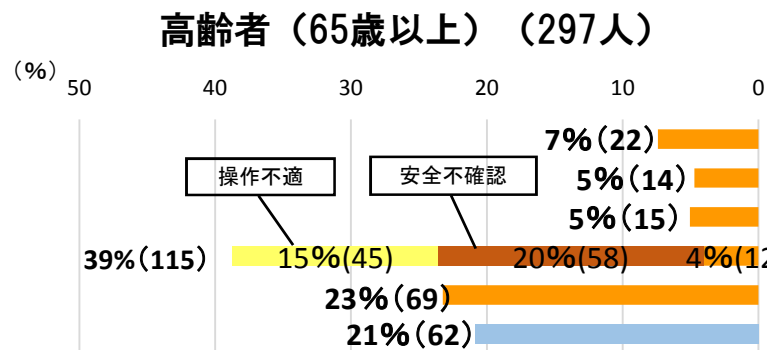
3 自転車乗用中死者の状況【① 法令違反状況の推移】

自転車乗用中死者（第1・第2当事者）の法令違反状況の推移



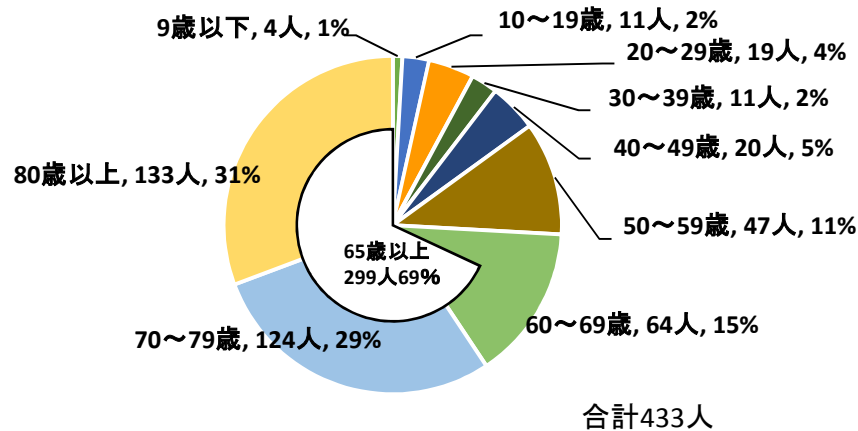
(注) ・「違反あり」には、「調査不能(違反種別が不明の場合)」等を含む。

自転車乗用中死者（第1・第2当事者）の法令違反別比較（令和元年）

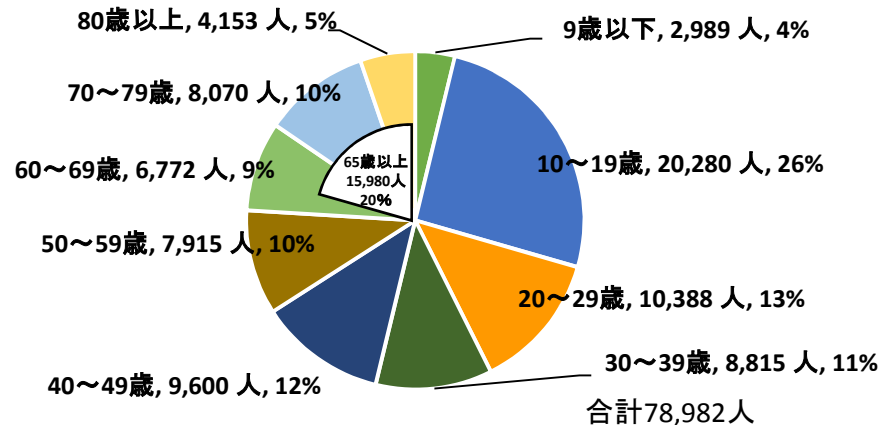


3 自転車乗用中死者の状況【② 死傷者との比較】

年齢層別自転車乗用中死者数（令和元年）

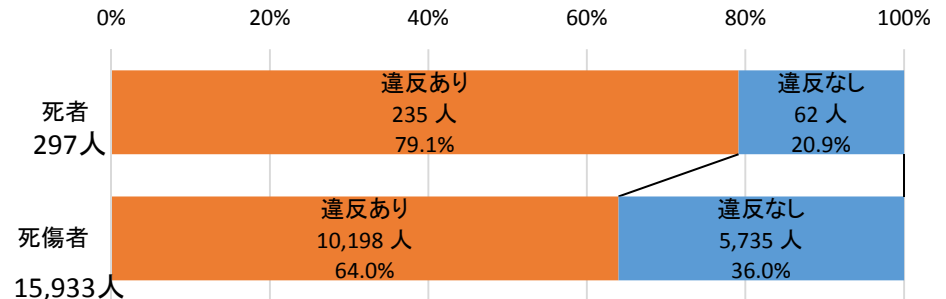


年齢層別自転車乗用中死傷者数（令和元年）



自転車乗用中死者・死傷者（第1・第2当事者）の法令違反状況（令和元年）

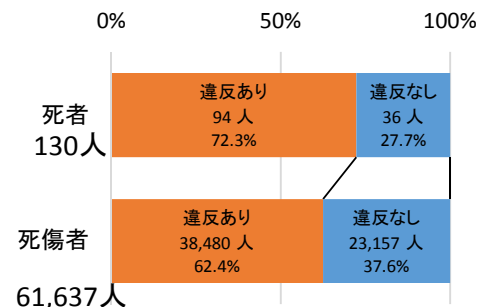
<高齢者>



【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 2.3% **約2.1倍** (違反なし) 1.1%

<高齢者以外>



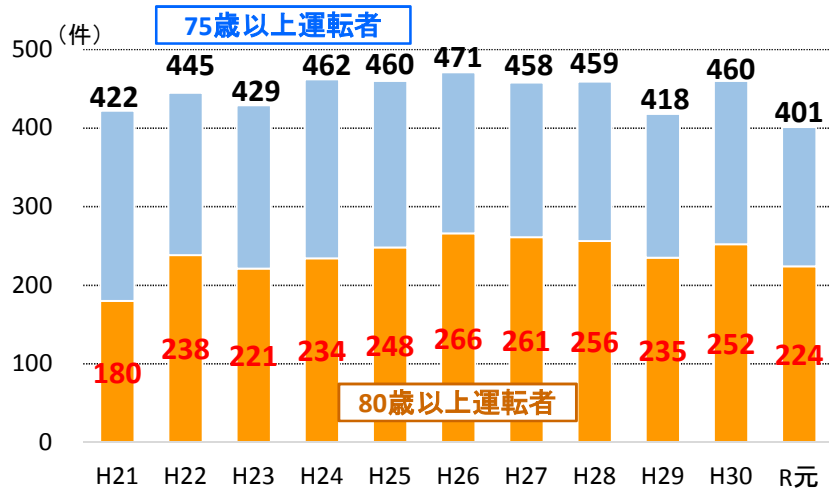
【(死者/死傷者)率】

(違反あり) 0.24% **約1.6倍** (違反なし) 0.16%

65歳以上違反ありの場合の(死者/死傷者)率は、65歳未満の9.4倍

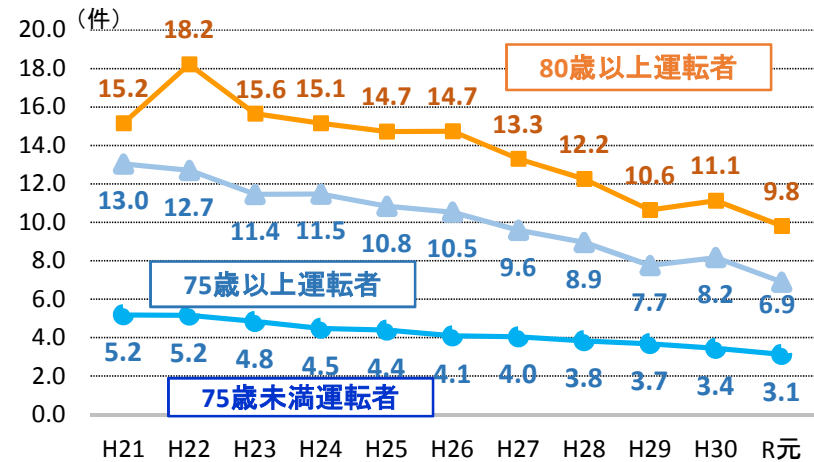
4 高齢運転者による交通死亡事故件数の推移

75歳以上・80歳以上
高齢運転者による死亡事故件数の推移



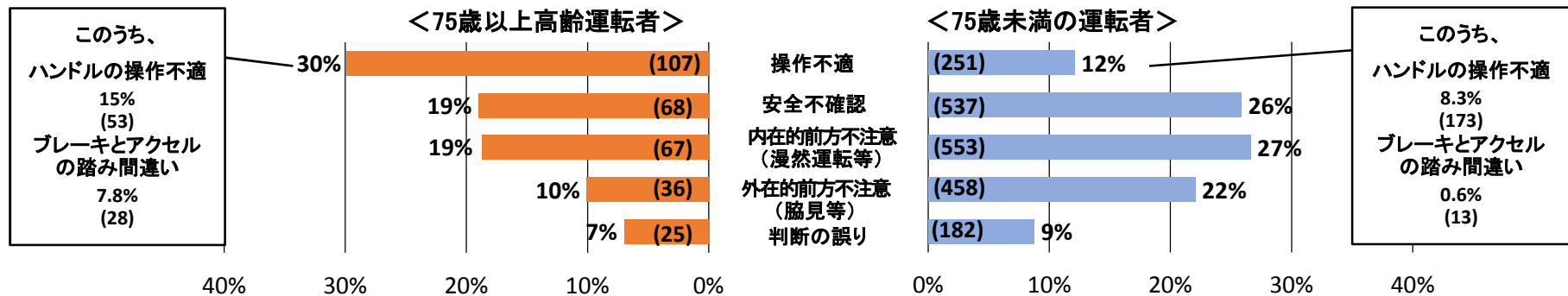
(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。

運転者（原付以上・第1当事者）による年齢層別
免許人口10万人当たり死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。
・ 算出に用いた免許人口は、各年12月末の値である。

自動車運転者による年齢層別死亡事故の人的要因比較（令和元年）



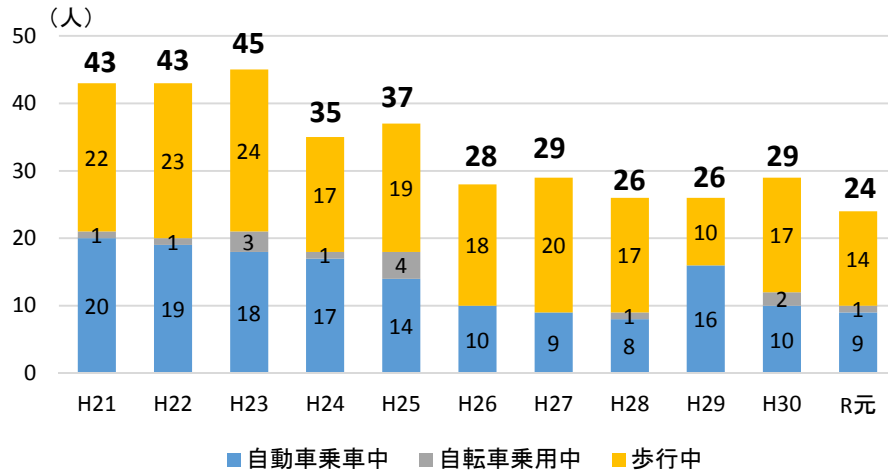
死亡事故件数: 358件
※調査不能が55件ある

死亡事故件数: 2,076件
※調査不能が95件ある

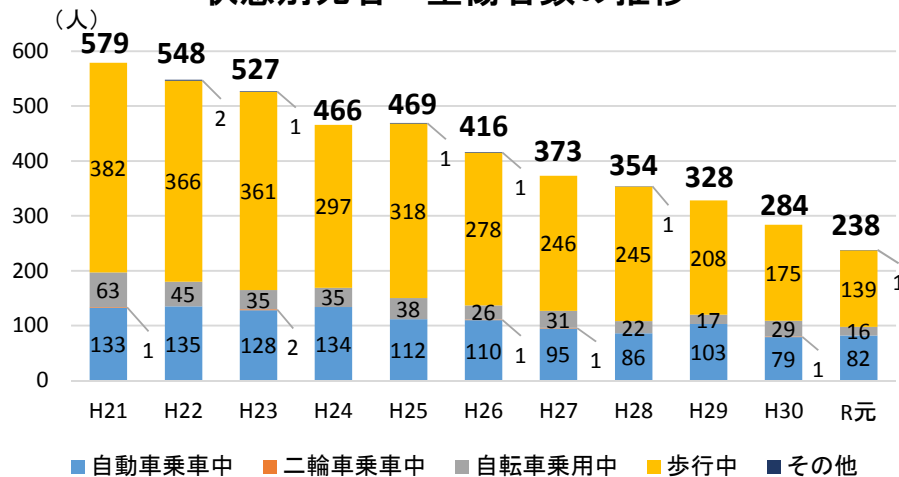
(注) ・ 第1当事者が乗用車、貨物車、特殊車の件数である。

5 幼児・小学生の交通事故死者数等の推移

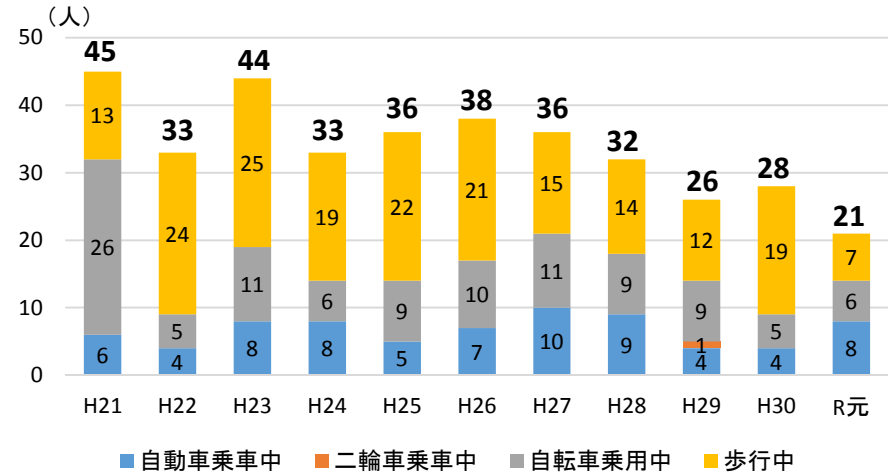
幼児（未就園児・就園児）の 状態別交通事故死者数の推移



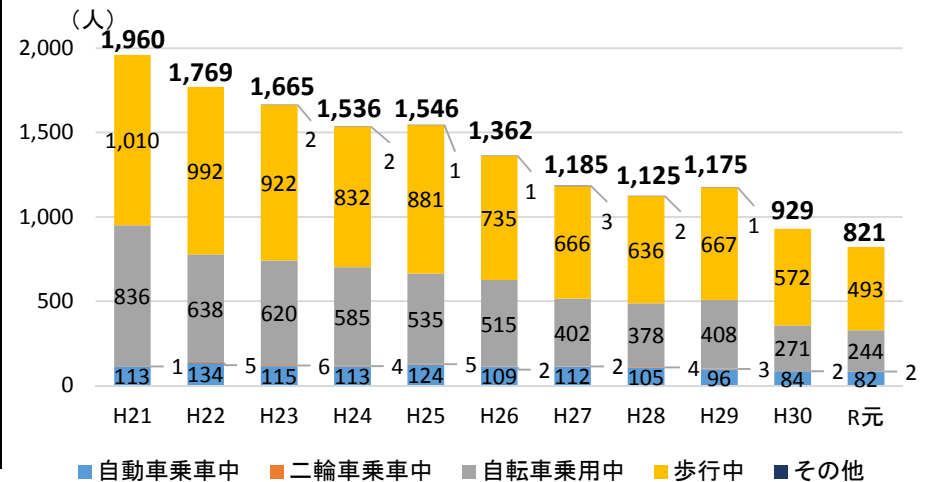
幼児（未就園児・就園児）の 状態別死者・重傷者数の推移



小学生の状態別交通事故死者数の推移

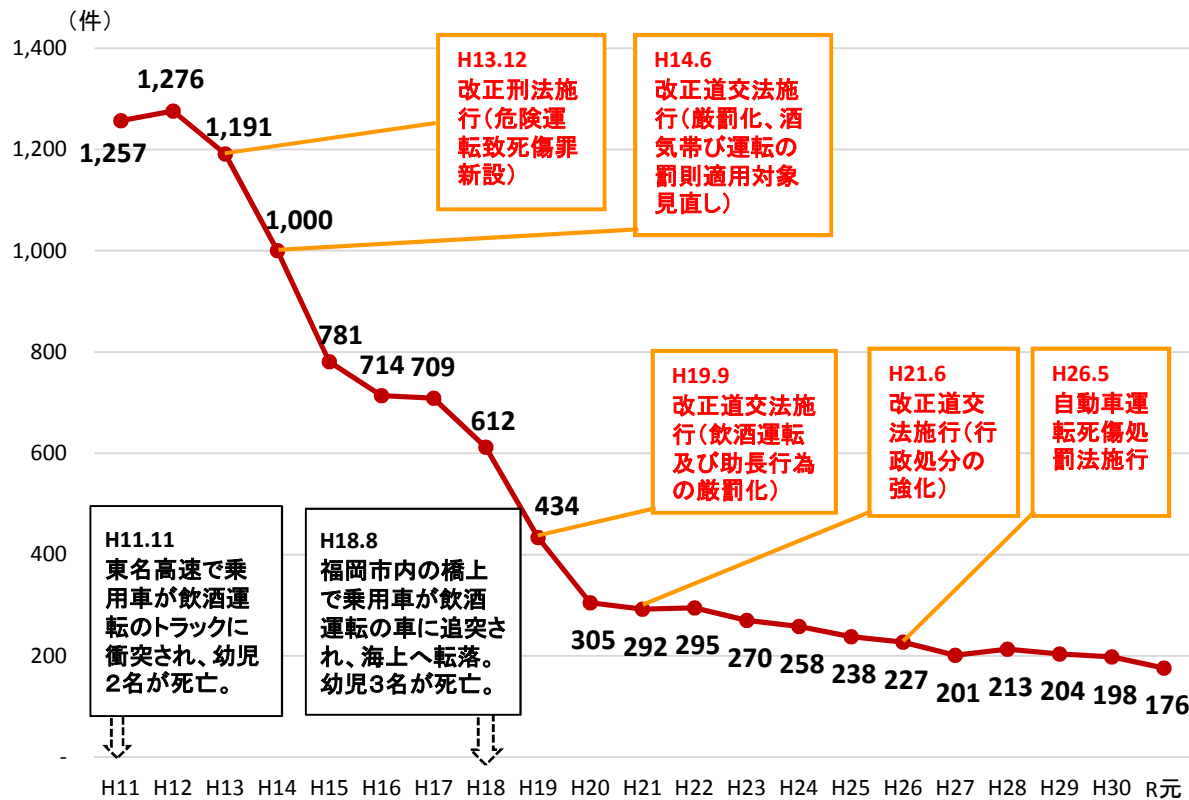


小学生の状態別死者・重傷者数の推移



6 飲酒運転による交通事故に係る分析

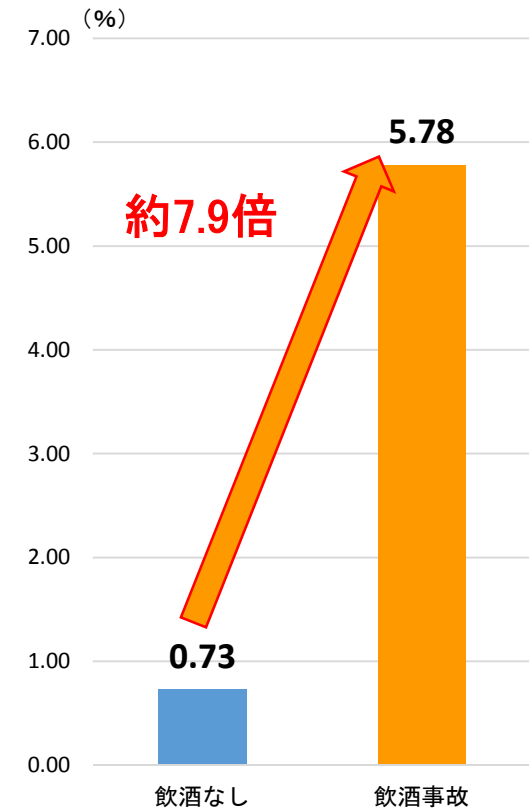
飲酒死亡事故件数の推移



(注) ・ 第1当事者が原付以上の件数である。
 ・ 「飲酒死亡事故」とは、第1当事者の飲酒状況が酒酔い、酒気帯び、基準以下、検知不能のいずれかに該当する場合の死亡事故をいう。

- ・ 12月における取組の強化
 20件 → 13件(-7件)、年間では-22件

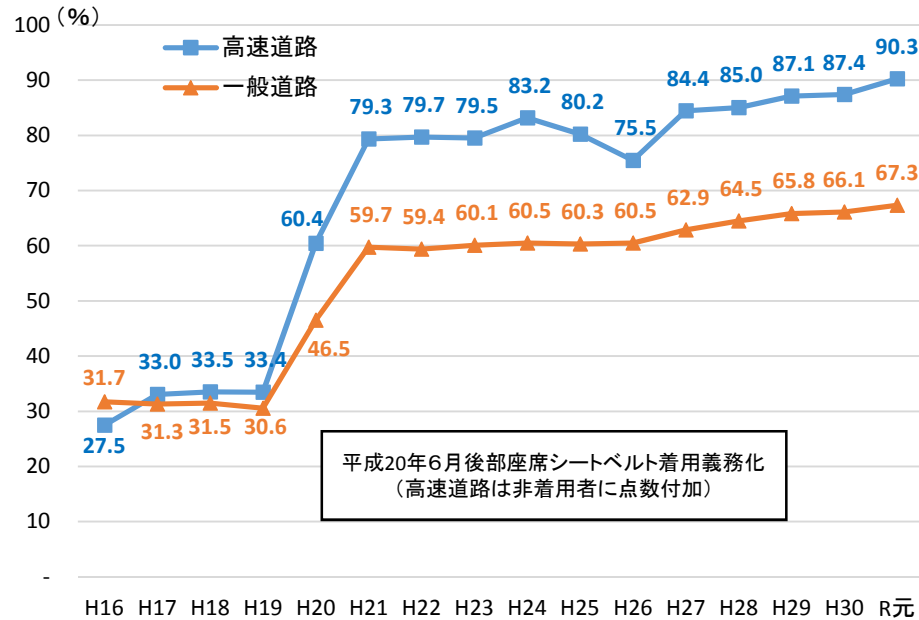
死亡事故率比較 (令和元年)



(注) ・ 調査不能は除外した。

7 シートベルト着用状況(後部座席)に係る分析

自動車後部座席同乗中死傷者のシートベルト着用者率の推移



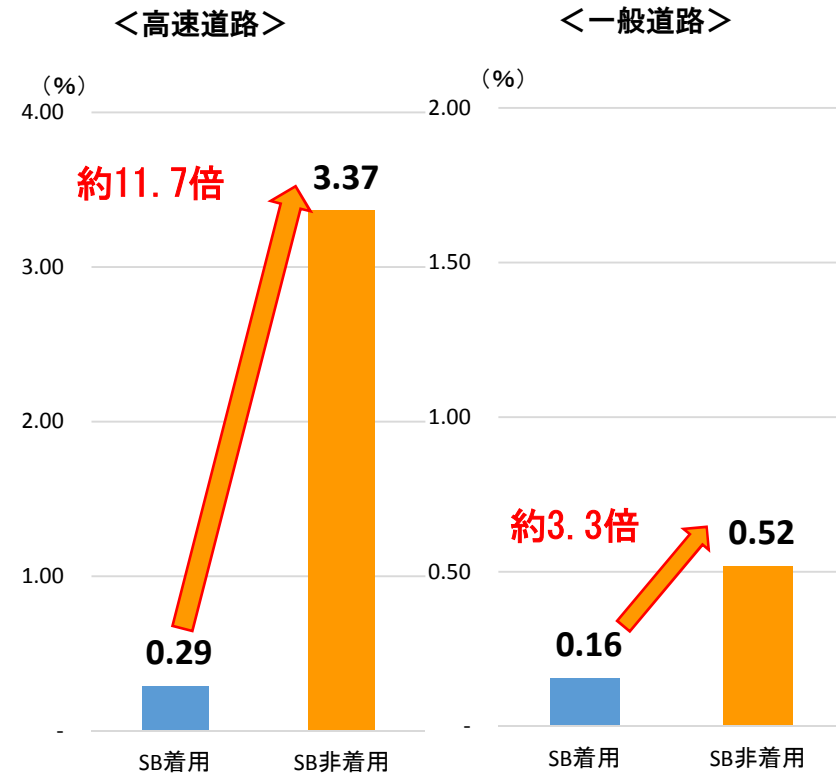
平成20年6月後部座席シートベルト着用義務化
(高速道路は非着用者に点数付加)

(参考)自動車後部座席同乗中シートベルト非着用死者数の推移

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元
高速道路	48	38	22	23	15	14	22	23	15	32	18	17	11	12	9	18
一般道路	212	176	140	145	119	109	107	100	87	87	90	87	82	64	67	77

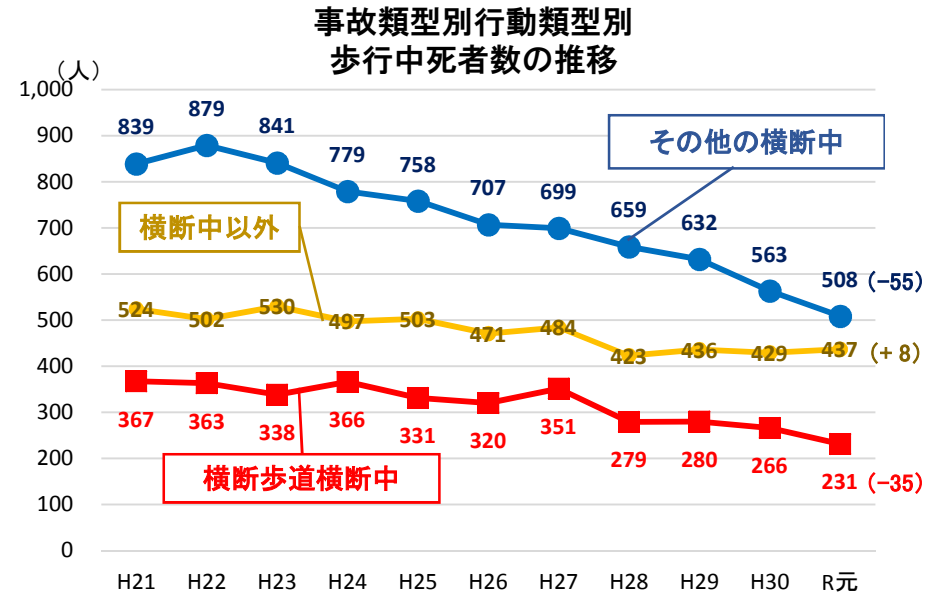
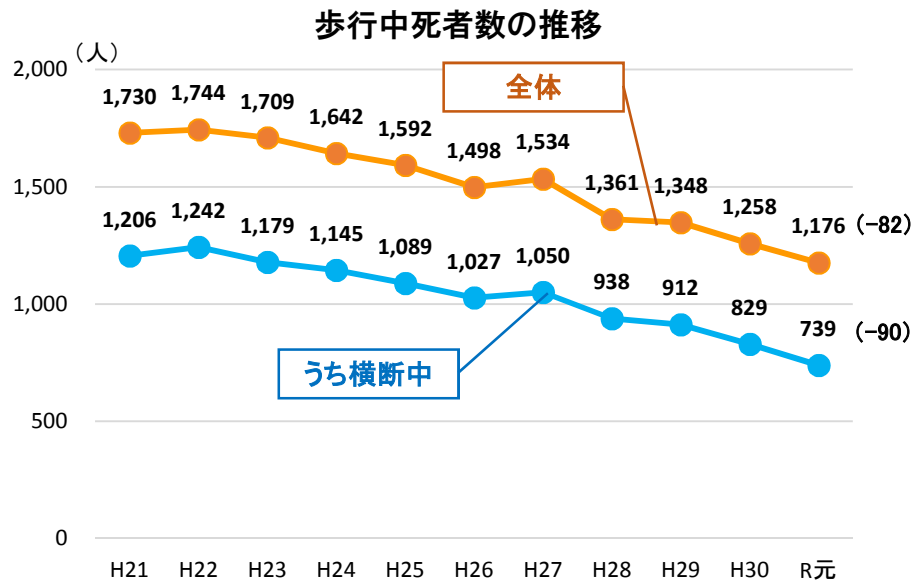
【参考】

自動車後部座席同乗中死傷者のシートベルト着用・非着用別致死率
(過去10年(平成22~令和元年)合計)

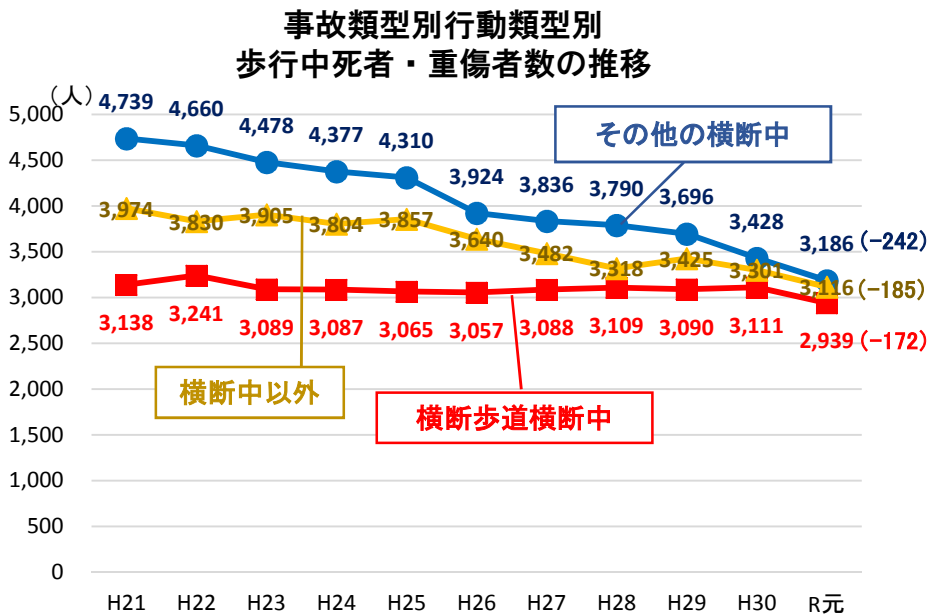


(注)・「後部座席」とは、乗用車、貨物車、特殊車の運転席及び運転席横の座席以外の座席に乗っていた者をいう(バスの座席、貨物車の寝台席を除く)。
 ・「シートベルト着用者率」は、死傷者数のうちシートベルト着用者の割合をいう。着用不明を除く。
 ・「致死率」は、死傷者のうち死者の割合をいう。

8 歩行中死者数の推移



(注)・「その他の横断中」は、横断歩道付近、横断歩道橋付近等を含む。



(注)・「その他の横断中」は、横断歩道付近、横断歩道橋付近等を含む。

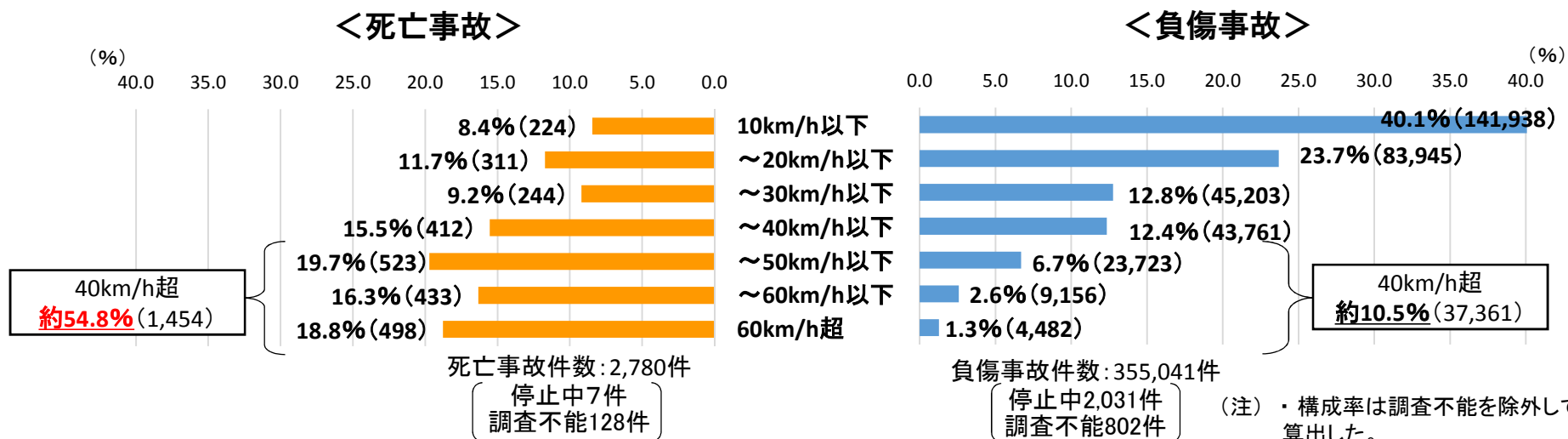
- ・ 横断歩道横断中以外の横断中死者の減少が全体の死者減に寄与
- ・ 昨年は横断歩道横断中の死者・重傷者も大きく減少した。(3,111人→2,939人(-172人、-5.5%))

【参考】歩行者妨害取締件数

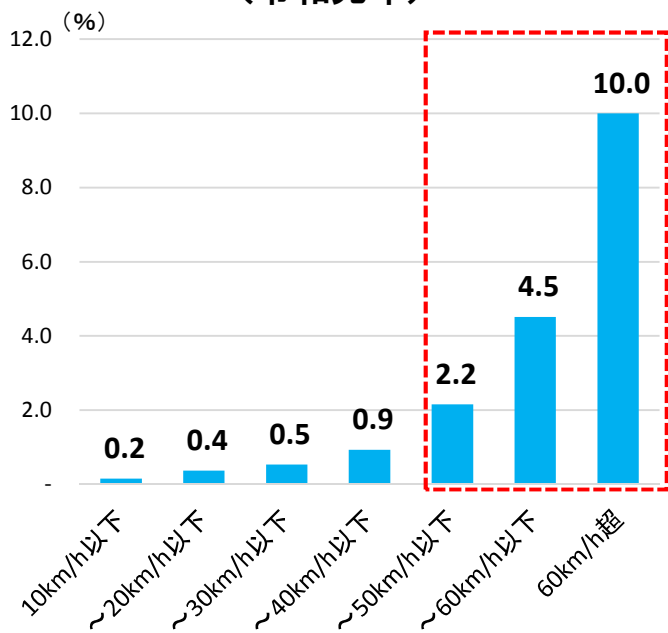
年	H27	H28	H29	H30	R元	対前年増減	
						対前年増減数	対前年増減率
	99,763	111,142	145,292	181,290	229,395	48,105	26.5

9 危険認知速度と交通死亡事故の相関に係る分析

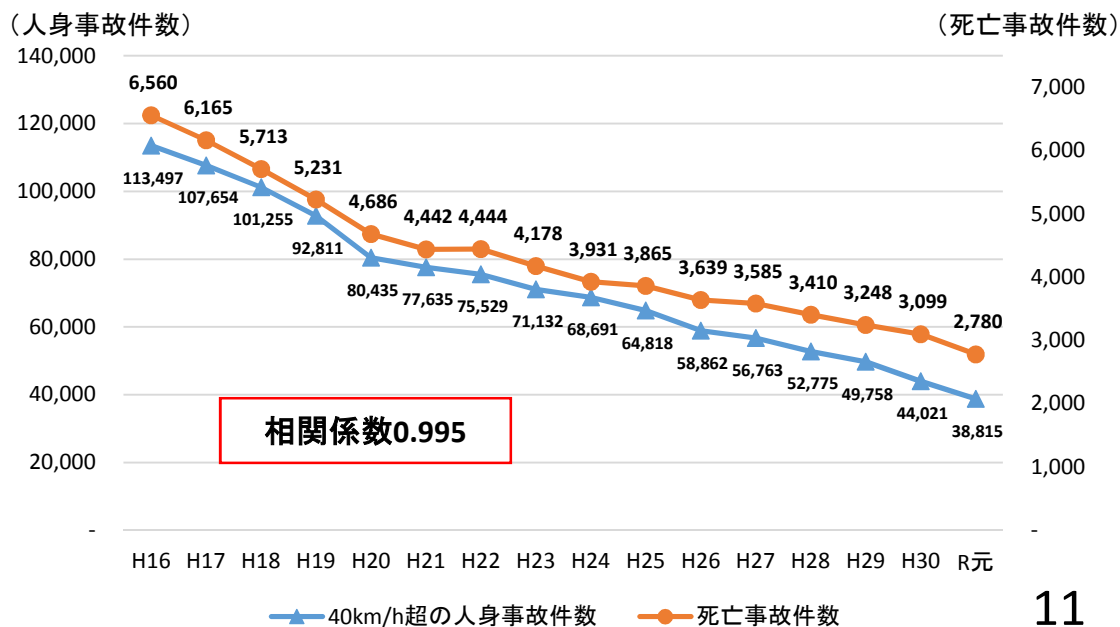
危険認知速度別交通事故件数（令和元年）



危険認知速度別死亡事故率（令和元年）



危険認知速度40km/h超の人身事故件数と死亡事故件数の推移



令和元年における交通事故死者数減少要因分析

状態別交通事故死者数

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少		
	死者数	平均減少率	死者数	対前年増減率	最大減少率	年	
交通事故死者数	3,872.0	-3.9%	3,215	-9.0%	-6.3%	H25→H26	
状態別	自動車乗車中	1,289.6	-3.1%	1,083	-9.5%	-8.7%	H28→H29
	二輪車乗車中	660.6	-3.9%	510	-16.8%	-8.4%	H25→H26
	自動二輪車乗車中	439.6	-2.8%	361	-10.0%	-10.5%	H29→H30
	原付車乗車中	221.0	-5.6%	149	-29.7%	-17.9%	H28→H29
	自転車乗用中	510.6	-4.9%	433	-4.4%	-11.0%	H27→H28
	歩行中	1,399.8	-4.2%	1,176	-6.5%	-11.3%	H27→H28
	その他	11.4	-4.3%	13	18.2%	-42.9%	H25→H26

高齢者（65歳以上）の状態別死者数

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少		
	死者数	平均減少率	死者数	対前年増減率	最大減少率	年	
交通事故死者数	2,112.8	-3.0%	1,782	-9.4%	-5.5%	H28→H29	
状態別	自動車乗車中	618.2	0.6%	552	-12.5%	-10.0%	H28→H29
	二輪車乗車中	150.6	-5.1%	101	-26.3%	-11.2%	H26→H27
	自動二輪車乗車中	42.4	-4.3%	27	-25.0%	-25.0%	H29→H30
	原付車乗車中	108.2	-5.4%	74	-26.7%	-19.7%	H27→H28
	自転車乗用中	335.8	-4.5%	299	1.7%	-9.8%	H29→H30
	歩行中	1,001.4	-4.0%	819	-8.9%	-7.5%	H29→H30
	その他	6.8	-10.9%	11	120.0%	-45.5%	H25→H26

飲酒及び高齢運転者事故

	過去5年平均		令和元年		過去5年最大減少	
	件数	平均減少率	件数	対前年増減率	最大減少率	年
飲酒死亡事故件数	208.6	-3.4%	176	-11.1%	-11.5%	H26→H27
75歳以上運転者による死亡事故件数	453.2	0.0%	401	-12.8%	-8.9%	H28→H29

(注) ・ 過去5年平均は、平成26年～平成30年の値である。

【参考】車種別車両保有台数

	平成25年	平成29年	平成30年	対前年増減		指数 (H25を100とした場合)
				対前年増減数	対前年増減率	
二輪車 計	11,907,584	11,031,992	10,814,060	-217,932	-2.0	91
自動二輪 (小型・軽二輪・原付二種)	5,245,777	5,416,632	5,460,587	43,955	0.8	104
原付(原付一種)	6,661,807	5,615,360	5,353,473	-261,887	-4.7	80

(注) 国土交通省統計資料「自動車保有車両数月報」(各年12月末現在)による。ただし、原付二種、原付一種については、総務省統計資料「市町村税課税状況等の調」(各年7月1日現在)による。

○ 昨年中強化した対策と死亡事故抑止効果

- ・ 横断歩行者対策の強化

歩行者妨害取締件数の増加	+4万8,105件、+26.5%
歩行者の横断中死者数の減少	-90人、-10.9%
自動車乗車中死者数の減少	-114人、-9.5%
12月の死者数の減少	-54人、-13.2%
- ・ 適切な速度取締り
- ・ 12月における取組の強化

○ 本年の取組

- ・ 横断歩行者対策
- ・ 生活道路を含む速度取締り
- ・ 自転車の安全対策
- ・ シートベルト着用の促進